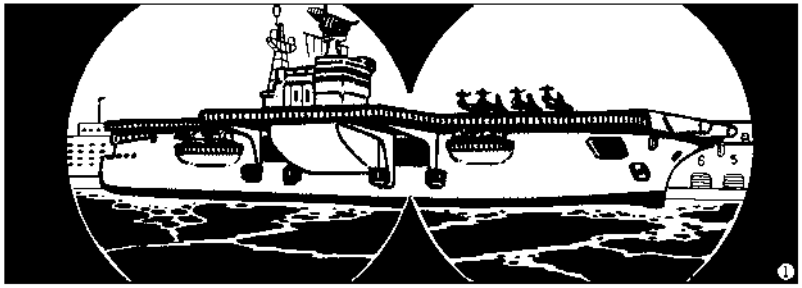
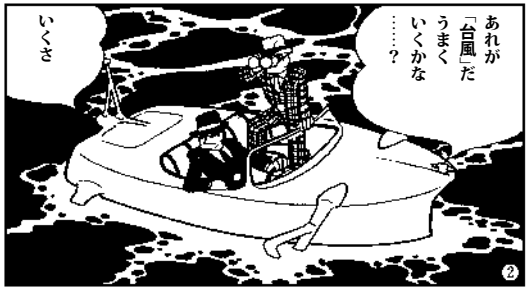
前号まで

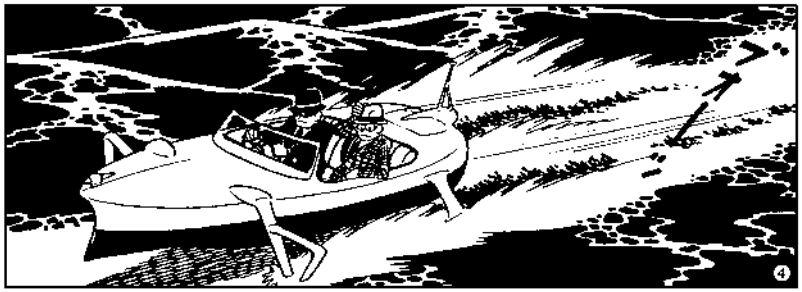
怪潜水艦をおって、三太のてがらで、あやしいたまをとらえたものの、「台風」も魚雷をうけてしまったので、「台風」は、ここに就航いらいはじめて錨をおろし、改造することになった。

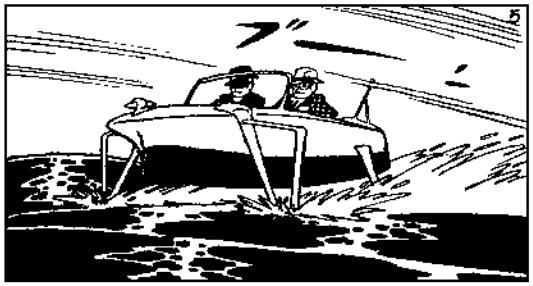
しかし、「台風」をねらうものたちが、この機会をのがすはずがない、陸から海から、いろいろの方法で「台風」にちかづいてくる。

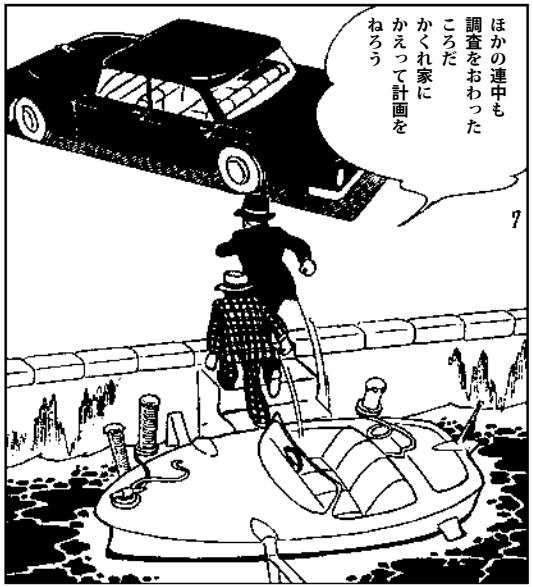
しだいに姿をあらわしはじめた、あやしい影のまえにしずかに錨をおろしている「台風」に、どんな攻撃が、はじまるのだろう…？

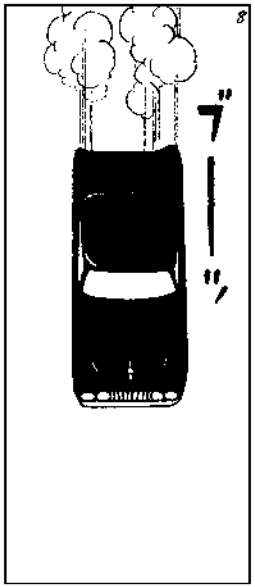


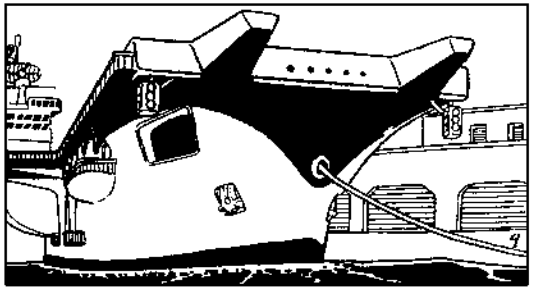


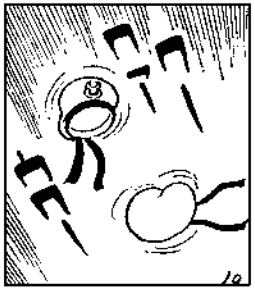












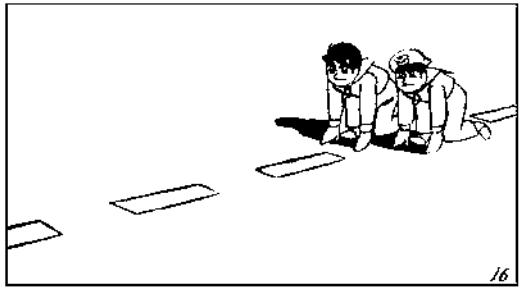
ワア ワア ワア
キャー キャー
キャー キャー
11

大さわぎだな
ああ
12

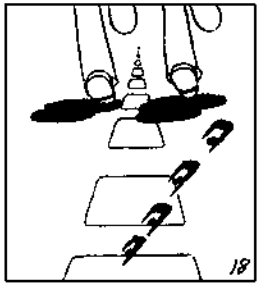
ひさしぶりに「台風」にもどったんだ気もちはわかるよ
13

三太！
ん！
14

しばらくぶりではしってみるか
やるか
15


16

ドン
17


18

やっはじめたな
タッ タッ タッ
19

いいぞいいぞがんばれ
イ〜〜ヤッホ
20

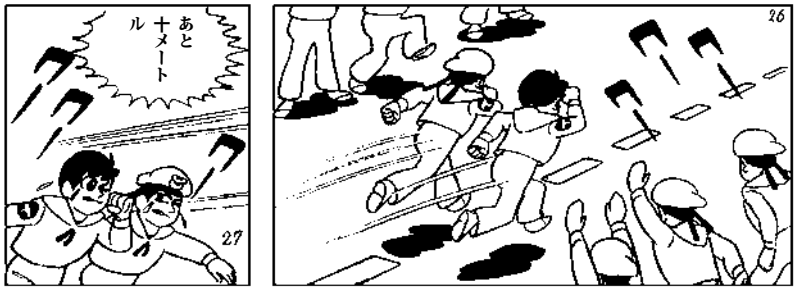
21

どっちにかける？
おれは大助だ
22

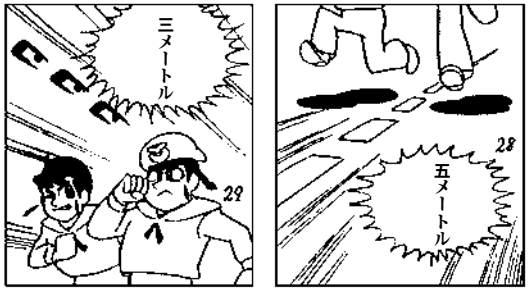
よし三太にかけた
大助スパートしろおまえに一千万円かけたぞ
23

三太がんばれ二千万円だ
！
24

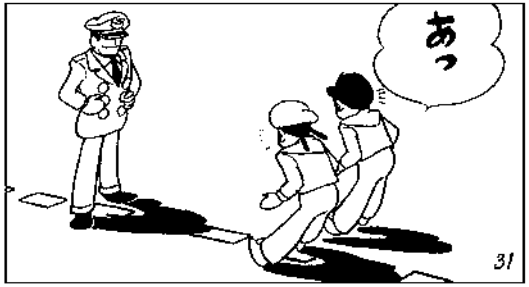
大助五千万円だ！
25

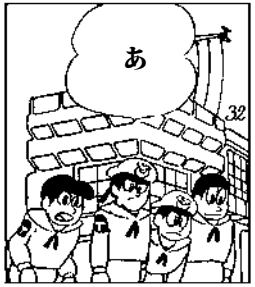


あと十メートル


五メートル
三メートル

一メートル
ゴールイン


あっ


あ

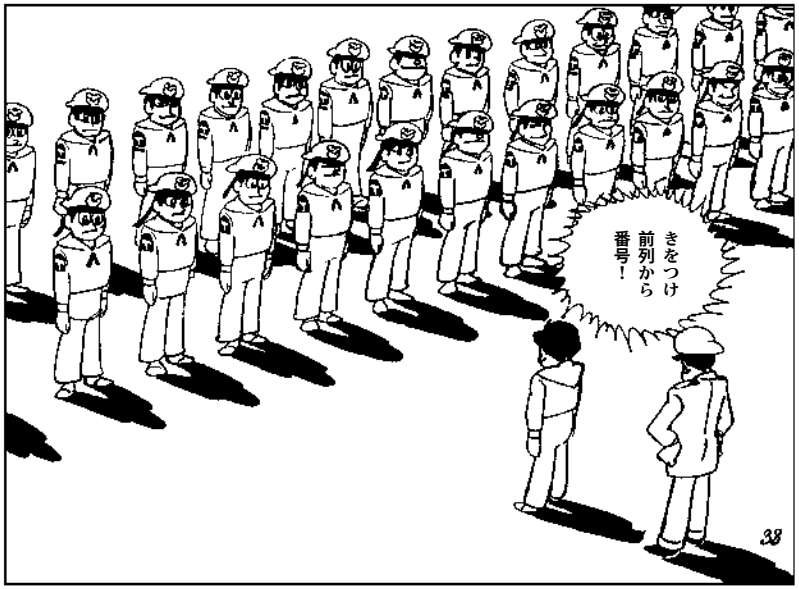
雷三佐！

同着勝負なしだな

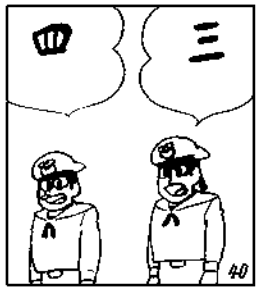
山川元気のいいところでみんなをあつめろ
はい

あっまれっ

三太が号令をかけだしたぞ？
ちぇっあのやろう調子のいいやつだな


きをつけ前列から番号！

一
二


三
四

五
六

二十一
四十三
？

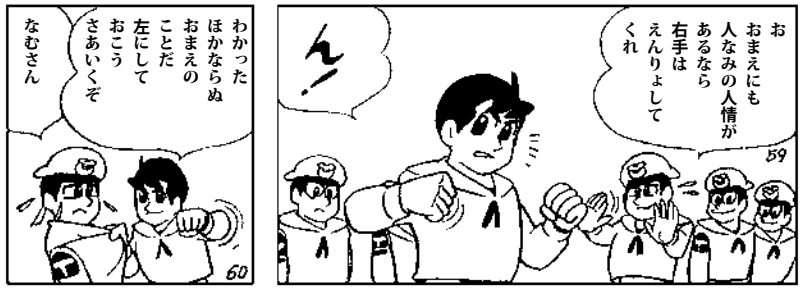
もういちど番号！
一！
二！
四十四

へんだな……？
どうした山川！
ひとりたりないんです
どこかでサボってるのかな
ほう
あ

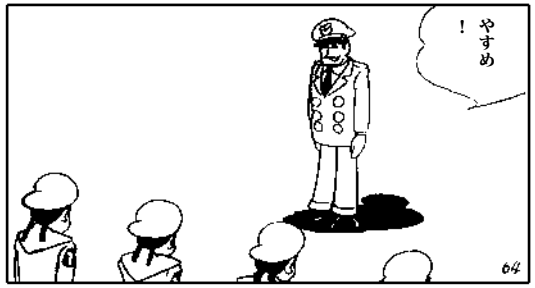
四十五
アウッ
全員ぜいました
わかった列にもどれ！

へへじぶんを数にいれるのをわすれたんだ
むりもないさおまえはどうみても一人前じゃないからな
なんていった？
たいしたことじゃないおまえは半人前だってことさ

！
……
どうした？いまさら気にしたわけじゃないだろ
気がかわったのさこいつめ
まて三太！


おおまえにも人なみの人情があるなら右手はえんりょしてくれ
ん！
わかったほかならぬおまえのことだ左にしておこうさあいくぞなむさん

あ！
グイッ
右でも左でもいっこうにかまわんができたらあとにしないか山川！
はいっはいっあ あとにします
ふうう


やすめ！

しばらくぶりだな みんなの元気な顔をみて わたしも うれしい きみたちの のっていない 「台風」はまるで 火がきえたようだった

これで また 「台風」も 活気がもどる…… といいたい ところだが ……？

全員 衣納に 私物を まとめて 一時間後に 下艦する わたしも いっしょだ

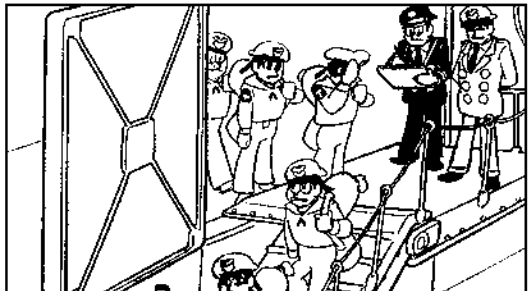
下艦だって？
なぜだ せっかく かえれたと おもったのに……
きっと 修理の ためだろ
ガヤガヤ
ガヤ

ぼくは おりない ぞ
ああ おりる もんか

「台風」は 怪潜水艦の 魚雷でうけた 損傷個所の 修理とどうじに 装備を 新しくする ために 大改装を おこなう…… これから三カ月は ドックいりだ
エッ

三カ月も！

ワイ ワイ ワイ
ガヤ ガヤ


コトン
コトン
コトン

四十三

オヤ？
どうした

ふたりたりません
まだ艦内にのこっているのか？

あのふたりだな……